

友だち(仲間)の良さを感じ、対話を大切にしながら相手の気持ちに気付く



好きなあそびを通して、仲が深まっていった子どもたち。“憧れのすいすいさん💎”と“かわいいわいわいさん♡”とのわらす組は、とてもあたたかい空間に包まれていて、甘えたり甘えられる真ん中のらんらんさんは、とても心地よくのびのびと過ごしていたように思います。本当に今年は野球でみんなの仲でぐっと縮まったような印象で、らんらんさん同士はもちろん、広くみんなで繋がっていききました。にこにこさんとは、来年度を見据えて、一緒に活動することも多々あり、今後も、頼られたり感謝される経験を重ねることで、自分に自信がつく体験を重ねていけたらと思っています。



一方で、“自分の思いを相手に言葉で伝える”ということは、らんらんさんの中でたくさん葛藤のある時期でした。年上の子と年下の子がいる真ん中に立場になり、どちらの立場も経験(想像)が出来るとても貴重な時期だったように思います。とても優しい子が多く、客観的に見ると友だちの立場になって、その子の気持ちに寄り添う、思いやる場面が多く見られるようになり、この時期から、わいわいさんとの繋がりも多くなって、お姉さん・お兄さんな素敵な姿がたくさん見られるようになりました。特に、年上や同じ年の子との関係の中で、うまく言葉に出来ず、我慢してしまったり、無意識のストレスのようなものになっていたり、たくさん壁にぶつかりました。“相手に自分の気持ちを伝えることは、なんで大切なんだろう？”ということと一緒に考えたり、自分で伝えることが難しいときは大人や周りの友だちにsosを出す大切さ等、たくさん対話しながら、自分も中での解決方法を一緒に考えていきました。自分と向き合う時間を持つ中で、相手の気持ちも考え、伝え方についても少しずつ考えられるようになっていったように思います。